

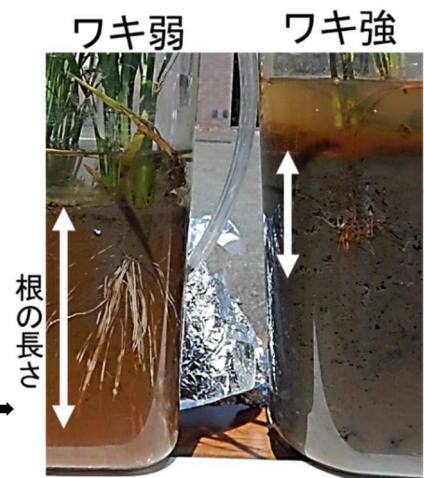
## 土壌の異常還元（ワキ）注意！ 田干し・水交換で根に酸素を届けよう！

### ◎ワキの影響は深刻です！

高温が続くと土壌の異常還元（ワキ）が急激に進みます。ワキにより生成したガスは、根の伸長やはたらきを阻害するため、初期生育（特に茎数や葉色）が緩慢となります（右図）。

根の活力を維持し、水稻の生育を順調に進めるには、土壌の還元を弱める対策が極めて重要です。

図1 ワキの程度による根の状態の違い  
→ 移植20日後、R2庄内農業技術普及課



### ◎具体的な対策方法（近年の稲作の最重要ポイント）

#### ① 一発除草剤散布前に水交換を行う。

- ワキをリセットし、止水期間中にワキが強まることを防ぎます。
- 既に除草剤を散布した圃場は、止水期間後速やかに田干しを行います。

#### ② 6月に1～2日程度の田干しを1回以上行う。

- 足を入れて気泡が盛んに発生したら、すぐに田干しを行いましょう。
- 田干しの期間は、砂質土壌や水持ちの悪い圃場は1日、粘土質土壌や水持ちの良い圃場は2日程度とします。
- 例年ワキがひどい圃場では、6月半ば頃までに複数回行いましょう。

### ◎浅水管理で分けつ促進！

移植後の葉数展開が緩慢となっています。

右図のとおり、水深が浅い方が水温は上がりやすく、初期生育を促進します。浅水管理（水深2～3cm）で分けつを促進しましょう。

図2 水深が異なる圃場での水温の変化  
→ 5月25日（晴れ、最高気温26.6℃）調査

